

# ベトナムにおける障害者スポーツの現状

森 絵里咲

(NPO 法人 難民を助ける会)

## 1. 障害者スポーツ大会の開催・参加状況

### (1) 国内大会

1995年より、全国レベルの障害者競技大会を年1回実施している他、スポーツと文芸の大会を4年に1回実施している。

### (2) 国際大会

ASEAN パラゲームには、2001年マレーシア、2003年ベトナム、2005年フィリピン、2007年タイ、2009年マレーシア、2011年インドネシア、2014年ミャンマーの各大会に参加した。

表1 ASEAN パラゲームへのベトナムの出場

開催年	開催都市	出場選手数	出場競技	メダル獲得順位
2005	フィリピン	68名	陸上、水泳、卓球、パワーリフティング、バドミントン、チェス	2位 (金82, 銀36, 銅27)
2007	タイ	112名	陸上、水泳、卓球、パワーリフティング、バドミントン、チェス	3位 (金78, 銀83, 銅75)
2009	マレーシア	98名	陸上、水泳、パワーリフティング、卓球、バドミントン、チェス、ヨット	3位 (金76, 銀77, 銅83)
2011	インドネシア	123名	陸上、水泳、パワーリフティング、卓球、バドミントン、チェス	4位 (金44, 銀44, 銅72)
2014	ミャンマー	n. a.	陸上、水泳、パワーリフティング、ボッチャ、チェス	4位 (金48, 銀66, 銅72)

FESPIC 大会、そして2010年より後継したアジアパラゲームには、1989年神戸、1994年北京、1999年バンコク、2002年プサン、2006年マレーシア、2010年広州、2014年イン

チョンの各大会に参加した。

このうち、2014年インチョン大会では、パワーリフティング男子49キロ級でレヴァンコン (Lê Văn Công) が世界記録、パワーリフティング男子54キロ級でグエンビンアン (Nguyễn Bình An) がアジア新記録、水泳ではチンティビックニュー (Trinh Thi Bích Như) およびグエンタンチュン (Nguyễn Thành Trung) の2名がアジア新記録をマークした。

表2 FESPIC アジアパラゲームへのベトナムの出場

開催年	開催都市	出場選手数	出場競技	メダル獲得順位
2006	マレーシア (参加国47)	65名	陸上, 水泳, パワーリフティング, 柔道, バドミントン, ヨット	10位 (金9, 銀27, 銅31)
2010	広州 (参加国47)	57名	陸上, 水泳, パワーリフティング, 卓球, バドミントン	11位 (金3, 銀4, 銅10)
2014	インチョン	n. a.	陸上, 水泳, パワーリフティング, 卓球, バドミントン, ヨット, チェス	金9, 銀7, 銅3

パラリンピック大会には、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドンの各夏季大会に参加した。

2008年北京大会ではメダルを獲得できなかったが、やり投げ女子でグエンティハイ (Nguyễn Thị Hải)、やり投げ男子でチンコンルアン (Trinh Công Luận)、100m 走男子でダオヴァンクオン (Đào Văn Cường) が、それぞれ4位に入賞した。2012年ロンドン大会では、パワーリフティング女子40キロ級でグエンティホン (Nguyễn Thị Hồng)、パワーリフティング男子52キロ級でグエンビンアン (Nguyễn Bình An)、やり投げ女子グエンティハイ (Nguyễn Thị Hải) と男子カオゴックフン (Cao Ngọc Hùng) が、いずれも4位に入賞し、水泳ではヴォタントゥン (Võ Thanh Tùng)、チンティビックニュー (Trinh Thi Bích Như)、グエンタンチュン (Nguyễn Thành Trung) の3選手がアジア新記録をマークした。

表3 パラリンピック大会へのベトナムの出場

開催年	開催都市	出場選手数	出場競技
2008	北京	9名	陸上, 水泳, 柔道
2012	ロンドン	11名	陸上, 水泳, パワーリフティング

なお、ベトナムが力を入れている競技は、水泳、パワーリフティング、バドミントンであり、これらの競技では成績も良好である。

## 2. ベトナム・パラリンピック協会の組織<sup>1)</sup>

ベトナム・パラリンピック協会は1995年に設立された。ベトナム文化・スポーツ・観光省に属し、国際パラリンピック委員会（IPC）、アジアパラリンピック委員会（APC）、ASEAN パラスポーツ連盟に加入している。

役員構成は以下のとおりである（なお、任期は4年間で、現職者の任期は2017年まで）。

会長	ファム ヴァン トゥアン (Phạm Văn Tuấn)
副会長兼総書記	ヴー テー フィエット (Vũ Thế Phiệt)
副会長	ファム ゴック ソン (Phạm Ngọc Sơn) ホアンズ (Hoàng Dự) グエンザン ガー (Nguyễn Danh Gà) ファム カク コアン (Phạm Khắc Khoan)
常務委員	ブイ ズイ ギア (Bùi Duy Nghĩa)
事務局長	チャン ドウック トー (Trần Đức Thọ)
専門委員	ホー タイン ミー (Hồ Thanh Mỹ) レー ホン ヴァン (Lê Hồng Vân) ホアン アイン (Hoàng Anh)

## 3. 障害者スポーツに対する内外の支援の現状と課題

ベトナムは、日本など若干の国の政府、NGO、他国の国際パラリンピック委員会等から支援を受けている。日本からの支援としては、たとえば、1988年および1989年に車いすと射撃銃の提供を受けた。また、2012年には、2012年開催のロンドン・パラリンピック大会出場に向けて、イギリスとアイスランドからトレーニングの協力を得た。

現在ベトナムは、陸上、水泳、パワーリフティング、バドミントンのトップ選手陣に対する日本での長期トレーニングおよび練習に必要な器具の提供を希望しており、一部は既に実施されつつある<sup>2)</sup>。

また、競技引退後の生活を維持するための職業訓練のノウハウ伝授に関して、国際支援の要請があると言われている<sup>3)</sup>。

さらに、メダリストを最も多く出していることで知られるホーチミン市のタンビンス

ポーツセンターの副所長は、以下のような点を課題として挙げている<sup>4)</sup>。

- ①障害者専用のクラブやスポーツセンターの設置
- ②障害を持つ利用者のための公立スポーツ施設の改善

現在はほとんどのスポーツセンターが、バリアフリーのトイレがない、障害者用のスポーツ器具がない等、障害者が利用しにくい状況にある。

- ③先進科学に基づくトレーニングの推進

## 4. 障害者スポーツ選手の実例

### (1) 水泳選手ホ ティ フェ (Hồ Thị Huệ)<sup>5)</sup>

ホ ティ フェは、1966年にベトナム戦争激戦地の1つであった中部クアンチ省生まれで、19歳の時に勤めていたセラミック工場で事故に遭い、片足を失った。1992年、息子が8か月の時に夫が家を出て、以来、屋台の茶屋で飲み物を売って生計を立て母親と息子を養っている。

1997年に第1回クアンチ省障害者スポーツ大会が開催された際、主催者に促されて出場し、競泳女子50mで1位をとった。翌年の第2回障害者全国大会では、50m、100m、200mで金メダルを獲得。更に、2002年のアジアパラリンピック・プサン大会では自由型400mで銀メダルを取り、2005年ASEANパラゲーム・フィリピン大会では200m、100m、50mで新記録を出した。

フェの練習環境は過酷なものだった。2004年までは地元にはプールがなかったため、ベトナム戦争中に爆弾が投下されて出来たくぼみの池で練習した。「このくぼみが現代的なプールであればいいのに」と願いながら、日々そこで練習を励んでいたと言われる。全国の優秀選手に選ばれて2003年にファン ヴァン カイ首相を表敬したとき、フェはプール建設の要望書を同首相に提出した。1か月後、首相からクアンチ省で現代的なプールの建設に同意するという返事が届き、夢がかなった。

現在、フェはクアンチ省パラリンピック事務所で働きながら、障害者の支援や後輩の指導に当たっている。

### (2) 水泳選手のヴォ タン トゥン (Võ Thanh Tũn)<sup>6)</sup>

ヴォ タン トゥンは1985年ベトナム南部アンザン省に生まれ、4歳の時に小児マヒを患い、両足マヒになった。

カントー省ビントゥイ市の運動場で偶然にバドミントンをしている人々を見て、興味を持ち、参加させてもらった。トゥンはこのスポーツに向いていると言われたが、ラ

ケットを買う資金がなかったため、道具の要らない水泳に転向した。その1か月後、2005年の全国障害者スポーツ大会で金メダル2個、銀メダル1個を獲得した。カントー省のスポーツ局から無料でプールに通えるよう配慮するという話もあったが、結局、実現しなかった。トゥンは電話修理の店で働きながら毎日の報酬3～4万ドン（約170～227円）のうち、1万ドン（約56円）のプール代を捻出し、泳ぎの指導を受けた。練習に通い続けているうちに入場係は入場券を求めなくなり、無料で練習することができるようになった。

2006年から2009年までの障害者全国大会では、自由型50m・100mとバタフライ50mでそれぞれ金メダルをとった。

2009年ASEANパラゲーム・マレーシア大会では、自由型50m・100mで金メダル、バタフライ50mで銀メダルを獲得したが、このうち自由型50mは新記録であった。2010年アジアパラリンピック広州大会では、自由型100mで金、50mで銀をとった。

### (3) パワーリフティング選手グエン ティ ホン (Nguyễn Thị Hồng)<sup>7)</sup>

グエン ティ ホン (36歳) はベトナム中部クアンチ省生まれで、4歳のとき、小児マヒを患い、両足がマヒになった。

15歳のとき、国道沿いに茶屋を開いて生計を立てた。市の担当者から市開催の障害者スポーツ大会に出場するよう言われ、仕方なく参加したが、3000m走で金メダルを獲得した。1か月後に省レベルの大会でも金メダルをとった。2003年にハノイで開催された全国大会でも3000m走で金メダルをとったが、同日午後に友人に誘われてパワーリフティングの試合に出たところ、思いがけず銀メダルを獲得。その数か月後のASEANパラゲーム以降、パワーリフティングの選手として出場している。

毎朝6時に起き、6時半から午後3時まで町中で宝くじ売りをして、生計を立てている。200枚ほど売れ、20万ドン（約1100円）の収入を得ている。それから運動センターに直行して練習を行う。ホーチミン市で10平方メートルの家を200万ドン（約1万1000円）で借りて暮らしているが、財産と言えるものは自分の車いすと夫の古いバイクのみと生活が苦しいため、子どもを親に預けて見てもらっている。子どもに会いたくて泣き出すこともしばしばであるが、小学校1年生になった息子と一緒に生活できる日を夢見て、練習に励み、国際大会で好成績を出したいと思っているという。

#### 注

- 1) 「ベトナム・パラリンピック協会の紹介」資料より引用。
- 2) 筆者によるベトナム・パラリンピック総書記ヴァーテー フィエット氏への質問に対するメールでの回答（2015年4月20日）。

- 3) 同上。
- 4) <https://www.facebook.com/parasport.vn/posts/661086297330824:0>の記事より引用（2015年7月25日閲覧）。
- 5) ベトナム・パラリンピック協会ホームページ <http://vnparalympic.com/> 上の記事「VĐV Bơi lội Hồ Thị Huệ- Người “tiếp lửa” nghị lực cho những số phận không may mắn」を要約（2015年7月25日閲覧）。
- 6) 同上ホームページ上の記事「Kinh ngư trẻ Võ Thanh Tùng và đường đến Paralympic」を要約（2015年7月25日閲覧）。
- 7) Tuổi Trẻ新聞上の記事「Nhà vô địch bán vé số」<http://thethao.tuoiitre.vn/tin/02/05/2013/cac-mon-khac/nha-vo-dich-ban-ve-so/3720.html> を要約（2015年7月25日閲覧）。

# The Current State of Disability Sports in Vietnam

Erisa MORI

(Association for Aid and Relief Japan)

The Vietnam Paralympic Association, which administrates and promotes disability sports in Vietnam, is affiliated with the Ministry of Culture, Sports and Tourism, and operates chiefly with the ministry's funding.

Since its establishment in 1995, the Vietnam Paralympic Association has participated in all international games and produced excellent results. The sporting events which it has emphasized and demonstrated particular strength in are swimming, power lifting and badminton.

Yet, at the same time, the living and training environment of athletes has been strenuous. For example, there was no pool for swimmer Hồ Thị Huệ, who set a new record at the 2005 ASEAN Para Games in the Philippines, to train in her hometown, and she practiced in a pond formed out of a pit created by bombs dropped during the Vietnam War. Power lifter Nguyễn Thị Hồng sells lottery tickets in the city, but it is not enough to make a living, and she leaves her child in the care of her parents in order to devote herself to training.

In preparation for the 2020 Tokyo Paralympic Games, Vietnam hopes that Japan will provide its top athletes in track and field, swimming, power lifting and badminton with the equipment they need for training as well as opportunities for long-term training in Japan.